

# Indonesia Weekly

2022年2月7日



(対象期間：2022/1/31～2022/2/4)

## 【株式市場】 ジャカルタ総合指数の推移 (2016年1月4日～2022年2月4日)

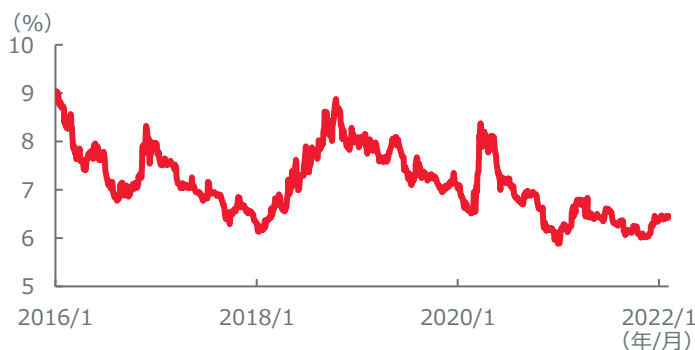


## 【株式市場】

1日が休日だったため4日間の取引となりました。1月31日はパーム油価格が過去最高値を更新したことからプランテーション株などが上昇し、2日はハイテク株などを中心に上昇しました。政府によるジャワ島・バリ島の行動制限の引上げの予想が現状維持となったことにより、小売株などが買われました。また、4日からバリ島への国際線旅客便の受け入れの再開と隔離期間の緩和を発表したことも好感されました。4日は大手銀行の好調な決算発表を受けて海外投資家からの資金流入などを背景に上昇しました。インドネシア株式市場は前週末比で上昇しました。

2022/1/28	2022/2/4	変化率
6,645.51	6,731.39	+1.29%

## 【債券市場】 インドネシア本国通貨建て10年国債利回りの推移 (2016年1月1日～2022年2月4日)



## 【債券市場】

週初は海外投資家からの資金流入を受け利回りはやや低下（債券価格は上昇）しました。2日に発表された1月の消費者物価指数（CPI）は前年同月比+2.18%となり、インドネシア中央銀行（BI）の目標レンジ内となりました。これを受け、BI総裁はインフレの兆候が表れるまで低金利政策を維持すると述べました。2日は、感染者数の増加が嫌気され、センチメントの悪化から利回りは上昇しました。4日は欧州中央銀行（ECB）とイングランド中央銀行（BOE）のタカ派化を受け世界の債券利回りが上昇したことから、インドネシアの債券利回りも上昇しました。10年国債利回りは前週末比でほぼ変わらずとなりました。

2022/1/28	2022/2/4	変化幅
6.465	6.462	-0.003

## 【為替市場】 インドネシアルピアの対円レートの推移 (2016年1月1日～2022年2月4日)



## 【為替市場】

週の半ばにかけてはインドネシアの旧正月中で取引が薄い中、債券市場への資金流入などを背景にルピアは上昇しました。しかし、オミクロン株の感染拡大を受けてインドネシアの新規感染者数が8月以来最多を更新するなど国内での感染者の急増を受けて、ルピアは週末にかけて下落しました。ルピアは前週末比対米ドルでは上昇、対円では下落しました。

2022/1/28	2022/2/4	変化率
0.8040	0.7994	-0.57%

100インドネシアルピアの対円レート

出所：グラフおよび表はBloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

<当資料に関してご留意いただきたい事項> ※当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。※当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料の内容は作成日時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。※当資料では、個別企業に言及することがありますが、当該企業の株式について組入の保証や売買の推奨をするものではありません。※当社による事前の書面による同意無く、当資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。

### イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第379号／加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

英国ブルーデンシャル社は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルデンシャル・ファイナンシャル社、および英国のM&G社の子会社であるブルーデンシャル・アシアランス社とは関係がありません。

英国ブルーデンシャル・グループ